

翻訳リリース（2011年8月2日）

DKSH グループ 2011 年度半期決算で、 過去最高の成績を更新

2011 年度半期決算で、売上高で 36 億スイスフラン、営業利益（EBIT）は 21.4%プラスの 1 億 500 万スイスフランを達成しました。

アジアを中心に、マーケットエクспанションサービスを提供する DKSH グループ（本社：スイス、チューリッヒ、社長兼 CEO ヨルグ・ヴォレ）は、2011 年度半期の決算を発表しました。前年度（2010 年）に達成した創業以来の好業績を上回り、総取扱高は前年同期比 6.3%のプラスで 49 億スイスフラン、そのうちディスカウントや返品などを除外し実際のビジネスのみを対象とした売上高は 2.3%のプラスで 36 億スイスフランとなりました。営業利益（EBIT）は 21.4%プラスの 1 億 500 万スイスフラン、税引後利益は 27.3%プラスの 6,500 万スイスフランとなりました。この結果から、過去数年間に達成してきた DKSH の業績拡大が 2011 年度も維持されていることが伺えます。

DKSH グループが活動の拠点としているアジア市場は、着実に、力強く成長しています。DKSH は、業務効率の向上やアジア市場での優位なポジショニング構築を通じ、アジアの経済成長を取り込んで利益につなげることができました。今回、DKSH の全 4 部門（消費財事業、生産資材事業、テクノロジー事業、ヘルスケア事業）が成長を達成し、好業績に貢献しました。

今回の好業績は、DKSH の主要市場の一つである日本が東日本震災によりビジネスへの影響を受けたにもかかわらず、その苦境を跳ね返して達成されました。この点について CEO のヨルグ・ヴォレは「困難な経済状況にもかかわらず、DKSH ジャパンは非常に優秀な業績を達成しました。これは、DKSH のビジネスモデルが、弾力性や回復力に富んでいることを証明するものです。」と述べています。また、DKSH の成長について、「この成長は、自社の成長戦略の徹底的な実施によってもたらされました。今後も、アジア全域に広がる支店網を活用し、バリューチェーンの全ての段階をカバーするサービスポートフォリオを持ち、顧客のニーズに合わせてテーラーメイドのサービスを提供することで、更なるビジネスの拡大と企業の成長を実現します。」と述べています。

2011 年前半、DKSH では既存の顧客とのビジネス拡大という、本業による成長に戦略の焦点を当てて活動してきました。また、各事業部のビジネスを強化して、戦略を補完するために数件の企業買収を行いました。2010 年の台湾屈指の消費財物流企業の「チャオ・タイ・ロジスティクス」買収に続き、台湾で消費者マーケティング事業を展開する「3D アジア」を 2011 年に買収し、台湾、香港、中国南部におけるサービスポートフォリオの拡充に成功しました。また、2011 年 6 月には、スイスの高級腕時計メーカー「モーリス・ラクロア」の経営権を獲得し、またアジアでのダビドフ製品の事業展開のためにジーノ・ダビドフと合併会社を設立しました。

2011 年後半の見通しについて、CEO のヨルグ・ヴォレは、「DKSH は 2 つのメガ・トレンドによって利益を得ることができると考えています。それは、1 つはアジアが引き続き多くの企業が成功を収められる、拡大中のマーケットであること、そして 2 つ目はアジアで事業拡大を考える企業が、自社の得意とする事業だけを自社展開し、他については DKSH のように信頼できるパートナー企業との連携を選ぶようになっていることです。アウトソースへの需要は急激に高まってきており、マーケットエクспанションサービスのリーディング企業である DKSH は、利益を得る理想的なポジションにあると考えられます。」と述べています。

DKSH グループについて

DKSH は、アジアを中心としたマーケットエクспанションサービスの大手プロバイダーです。この「マーケットエクспанションサービス」によって、DKSH は顧客企業やブランドの新市場あるいは既存市場におけるビジネス拡大を支援します。

世界 35 か国に 610 のビジネス拠点を有し、そのうち 590 拠点をアジアで展開している DKSH は、2 万 2,500 人の専門知識を備えた社員を擁しており、売上高及び従業員数でスイスの上位企業 20 社のひとつにランクされています。2010 年のグループ年間売上高は 100 億スイスフランを達成しました。

DKSH グループは、消費財事業部門、ヘルスケア事業部門、生産資材事業部門、テクノロジー事業部門の 4 部門を展開しています。調達、マーケティング、販売、流通、アフターサービスを組み合わせた包括的パッケージサービスを提供します。ビジネス・パートナーの皆様には専門知識のほか、比類なき規模と深さを誇る幅広いネットワークを活かした現地の流通サービスを提供します。

DKSH はスイス・チューリッヒに本社を置っていますが、アジア・太平洋の各国に深く根付いています。これは、約 150 年にわたって同地域でビジネスを行い、地元と共に発展した歴史に支えられています。

本件に関するお問合せ：

DKSH ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーション

長谷川 崇

〒108-8360

東京都港区三田 3-4-19

Phone 03-5730-7342 Fax 03-5730-7333

www.dksh.jp